

ウクライナ人道支援 中間レポート

MAY.2023

ロシア軍によるウクライナ侵攻から1年以上が経過しました。

未だ停戦の兆しが見えず、多くの市民が被害を受け続けています。一刻も早い停戦、そして平和が訪れることを願うばかりです。

PBVは、侵攻直後からウクライナの隣国・ルーマニアの複数の団体とともに人道支援を続けています。

ウクライナの隣国・ルーマニアへスタッフを派遣

1回目：2022年3月

現地調査、提携団体との打ち合わせを実施。現地滞在中にオンライン報告会「ウクライナ人道支援現地からの緊急レポート」を開催。



2、3回目：2022年6月、10月

協働していた複数のルーマニアのNGOの進捗を確認。食品や医薬品、日用品などの支援物資配布拠点の確認。今後の支援のための情報収集を実施。



4回目：2023年2月

被害を受けたウクライナの人々の話を直接伺い、継続支援の必要性を確認。現地NGOの活動を視察。



PBVが実施した支援

支援物資配布

ウクライナ各地の病院や物資拠点へ医薬品や食料品などを届けました。医薬品はのべ23箇所の病院に配布。

協力団体：PATRIR



がん患者・がん患者の家族へのサポート

ウクライナ国内で治療が難しくなった300人以上のがん患者と家族を、ヨーロッパ各地の病院に転院するサポートなどを実施。

協力団体：Youth Cancer Europe



ルーマニアに逃れた避難民のサポート

ルーマニアで暮らすための書類の翻訳や、避難民向けの心理サポートセッション、交流会などの支援を実施。

協力団体：CNRR



炊き出し・食料配布支援

米国に拠点を置く食料支援を専門的に行うNGOを通じて、ウクライナ国内にて約3,300食を提供。

協力団体：World Central Kitchen



「避難民支援センター」への支援

避難民同士が助け合える場、ルーマニアで生活する上で欠かせない情報交換の場として活用されているセンターの運営支援。

協力団体：Notorious Learning Projects



協力団体

PBVは、ウクライナ国内外の支援現場の最前線で活動する現地NGOと協働し、上記の支援を実施しています。

Peace Action, Training and Research Institute of Romania (PATRIR)



Youth Cancer Europe



Notorious Learning Projects



World Central Kitchen



Romanian National Council for Refugees (CNRR)



ウクライナ人道支援

再生医療リハビリテーションプロジェクト

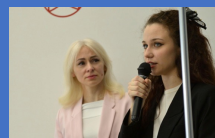


広島大学大学院医系科学研究科の弓削類教授とM.lashvili Children's Central Hospitalの脳神経外科医Dr. Lika Khorbaladzeと連携し、新たな支援にも取り組んでいます。

プロジェクト名は「ウクライナ人道支援 再生医療リハビリテーションプロジェクト」。戦争による頭部外傷などによって、歩行機能を取り戻すためのリハビリを必要としている人々を支援するものです。

最先端の細胞治療とリハビリテーションの統合医療を行っていきます。

プロジェクト概要をお伝えする記者会見を5月10日に実施。多くのメディアで報道いただきました。右記QRコードより記者会見をご覧ください。



引き続きのご支援、よろしくお願いいたします

本支援事業は、ジャパンプラットフォーム、パルシステム生活協同組合連合会、ロート製薬、全日本自治団体労働組合、真如苑、徳島人権・平和運動センター、ことの本基金、ステートレス、中村工務店、小鳥の森ゴルフパーク、大塚商会ハートフル基金、埼玉県平和運動センター、沖縄県職員退職者会、ギャラリーたむら、Cafe Travessa、秋田県平和労組会議、新潟県平和運動センター 護憲フォーラムにいがたをはじめとした、たくさんの団体・個人の皆さまからのあたたかいご協力に支えられています（順不同、敬称略）。心より御礼申し上げます。侵攻開始から1年以上が経った今も、ウクライナ各地での戦闘は続いています。皆さまからの引き続きのご支援、よろしくお願いいたします。



PBVの支援活動を
毎月支援する



ウクライナ人道支援に
寄付する



リハビリテーション
プロジェクトに寄付する



PBVの最新情報を配信中！ぜひご覧ください



2023年ウクライナ人道支援 中間レポート

発行:一般社団法人 ピースポート災害支援センター(PBV)

発行日:2023年5月30日